

エッセイ (Essay)

香川県産ホシミノタマタケの仲間についての報告

Octaviania sp. collected from Kagawa Prefecture

櫻庭 春彦*, 櫻庭 三恵

Haruhiko Sakuraba, Mitsue Sakuraba

香川県高松市昭和町

Syowa-machi, Takamatsu-shi, Kagawa, Japan

* 主著者 (Corresponding author)

E-mail: stnpaby8533@mc.pikara.ne.jp

Article Info: Submitted: 9 December 2019 Published: 31 March 2020

Octaviania さん、こんにちは！そしてまたね！

2019年12月1日、香川県綾歌郡綾川町粉所東の柏原溪谷から林道を、7人のグループで自然観察を楽しみながら歩いていました。コナラや、松など雑木林の道がくねくねと曲がりながら日向と日陰の場所が交互に出てきました。お弁当を食べて一休みした後で、シダに詳しいKさんに、色々と教えてもらいながら歩いているうちに、私とKさんはグループから遅れてしまいました。それでもマイペースで歩いていると、日陰の法面の落ち葉の積もった場所がふと気になって、そこらへんにあった棒でがさがさとひっかいてみたところ、直径1cm弱の白くて丸いものが目に入りました。

「地下生菌だ！」

と思った私はKさんに、カッターで、断面を切ってもらい、茶色くてちょっと模様みたいになっていることを確かめました。Kさんは「そんなに小さいもん良く見つけるなあ」

と言ってくれました。それで、前にいるグループの人たちに知らせようと数歩行ったところで、

「印を付けとかんと分らんようになる！」

とテープを付けに戻りました。Kさんは落ちていた朴の葉を3つも立てかけてまるで神棚のようになりました。さて、それから前のグループに追いつくべく一生懸命小走りを続け、

「おーい！地下生菌が見つかりました～」

と言っても何の返事也没有ませんでした。思ったよりも離れてしまったので、Kさんが、

「笛を吹こうか」

と言ってくれたのですが、

「そんなんしたら、イノシシに襲われたと思われちゃいますよ！」

と笑いながらも、ようやく皆に追いつくことができました。そしてまた皆と一緒に目印の場所へもどり、そのあたりを各自が足で掘ってみたり、棒でひっかいてみたりしたら、出るわ出るわ10個以上見つかりました。それで、必要な分だけ手に入れて、後は戻しておきました。地下生菌を初めて見つけた人も4人ほどいて、みんなでたくさん見つけられたのが楽しくて

「今日は楽しかったねえ」

「地下生菌ってあんな風にして見つかるんやねえ」

などと皆が笑顔になりました。うちに戻ると、早速Sさんが、胞子の同定の結果、

「オクタビニア (*Octaviania* ; 正式な和名はホシミノタマタケ属)の仲間」

とLINEで報告してくれました。ホシミノタマタケ属は以前にも見つけたことがありましたが、調べてみるまで分からないところがドキドキします。これからも出会いを楽しみに探し続けていきたいです。